平成27年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	経済学史(History of Political Economy)			授業コード	E014801
担当教員名	古川 順一			科目ナンバリングコード	
配当学年	2	開講期	前期		
必修・選択区分	選択	単位数	4		
履修上の注意または履修条件	西洋経済史と合わせて、西洋の近・現代史を学びます。				
受講心得	ノートを必ず持参すること。出席3分の2以上と、課題や中間レポートの提出をしてください。				
教科書	なし				
参考文献及び指定図書	『新版　経済思想史』(名古屋大学出版会)大田・鈴木・高・八木編 『イギリス哲学・思想史事典』(研究社)日本イギリス哲学会編(電子版あり)				
関連科目	西洋経済史				

授業の目的	経済学の歴史を通じて、経済学とはどんな学問なのかを考えます。果たして、経済学の目指す理想は、人間を幸せにするでしょうか。西洋経済史と合わせ、人間として一番大切なものは何かを、考えていきます。そして、人間として一番大切なものを大切にする経済学とは何かを求めていきたいと思います。 これを通して、自分自身が人間として一番大切なもののために生きる人間となることを共に目指したいと思います。どの地域でどのような仕事をする際にも必要な、普遍的視点を身に着けてもらうことを目標としています。
授業の概要	人間として一番大切にすべきことからはずれていったイギリスの経済学の歴史をたどります。古典派のスミス、リカードウ、マルサスから、新古典派のマーシャル、さらにケインズまで見ていきます。このイギリスの歴史から、生きていく上で、また働く上で、人間として一番大切にすべきことを知ることがいかに大切かを学びたいと思います。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 : ○第1回　イントロダクション 講義の全体の授業計画、受講心得、評価基準等について説明します。	
第 2 週 : ○第2回　経済学とは何か(1) 西洋経済史で考えた、人間として一番大切なことから見て、経済学はそれとどのような関係にあるかを考えます。	
第 3 週 : ○第3回　経済学とは何か(2) 経済学の中には、どのような理論的違いが存在するのか、その理由は何か、について考えます。	
第 4 週 : ○第4回　アダム・スミス(1) スミスの生涯と研究を、彼の生きた時代背景とかかわらせながら考察します。	
第 5 週 : ○第5回　アダム・スミス(2) スミスが、初めて経済学という科学を生み出した理由を考えます。	
第 6 週 : ○第6回　アダム・スミス(3) スミス経済学理論の特徴について考えます。	

第 7 週 : 〇第7回　アダム・スミス（4） スミスの経済政策の特徴について考えます。	
第 8 週 : 〇第8回　アダム・スミス（5） スミスの経済学が、どのような思想によって支えられているのかを考えます。またその理論、思想の現代的意義や限界についても、考察します。	小テスト①
第 9 週 : 〇第9回　リカードウとマルサス（1） リカードウとマルサスの生きた時代背景と、彼らのかかえた経済的課題について考えます。リカードウの生涯と著作について考察します。	
第10週 : 〇第10回　リカードウとマルサス（2） マルサスの生涯と著作について考察します。	
第11週 : 〇第11回　リカードウとマルサス（3） リカードウとマルサスの経済理論の違いについて考えます。	
第12週 : 〇第12回　リカードウとマルサス（4） リカードウとマルサスの労働価値説の違いから、どのように二人の経済理論の相違が生み出されていったかを、考えます。	小テスト②
第13週 : 〇第13回　リカードウとマルサス（5） リカードウとマルサスの経済理論上の違いが、どのような政策上の違いをもたらしたかを考察します。	
第14週 : 〇第14回　リカードウとマルサス（6） リカードウとマルサスが、自由貿易政策をめぐって対立することになった理論上の理由について考察します。	
第15週 : 〇第15回　リカードウとマルサス（7） リカードウとマルサスの経済理論上の相違が生み出された、思想的な根拠について、考えます。	アンケート①
第16週 : 〇第16回　リカードウとマルサス（8） リカードウとマルサスの理論、思想の後世への影響について、考察します。	小テスト③
第17週 : 〇第17回　マーシャル（1） マーシャルの生涯と研究を、時代背景と関係させながら、考えます。	
第18週 : 〇第18回　マーシャル（2） マーシャルの経済理論の特徴について考察します。	
第19週 : 〇第19回　マーシャル（3） マーシャルが、生産性とくに技術水準を重視している理由を考えます。	
第20週 : 〇第20回　マーシャル（4） マーシャルの経済学が、生産性をとくに重視する、政策的、思想的理由について考察します。	

第21週： 〇第21回　マーシャル（5） マーシャルの経済学の長所と問題点から、私たちは何を学ぶべきかについて考えます。	小テスト④
第22週： 〇第22回　ケインズ（1） ケインズが生きた二つの世界大戦の時代について考察します。	**ノート提出予定日**
第23週： 〇第23回　ケインズ（2） 時代背景の中でケインズが引き受けた世界経済の課題について考えます。	
第24週： 〇第24回　ケインズ（3） これまでケインズの経済理論は、一般にどう理解され、それに基づき、どのような経済政策が実行されてきたかを、考察します。	
第25週： 〇第25回　ケインズ（4） 今まで理解されてきたケインズは、本当のケインズといえるのか、考察してみます。	**中間レポート締切予定日**
第26週： 〇第26回　ケインズ（5） ケインズが本当に主張したかった経済学とは何か、その政策的意図は何かについて、探っていきます。	
第27週： 〇第27回　ケインズ（6） 本当のケインズを、『貨幣論』にまで遡り、考察します。	
第28週： 〇第28回　ケインズ（7） ケインズ理論の思想的根拠は何か、現代的意義は何か、について考察します。	小テスト⑤
第29週： 〇第29回エピローグ 人間として一番大切にすべきことを大切にするならば、どのような経済活動となるのかを考えます。	
第30週： 〇第30回　まとめ 経済学は何を目指しているのか、また目指すべきなのか、今までの講義を振り返りもう一度考えます。	
第31週： 中間レポート以降の内容を試験範囲とします。試験時間は80分で、論述式で出します。コピー、携帯等は持ち込み不可です。	アンケート②

授業の運営方法	（1）授業の形式	「講義形式」
	（2）複数担当の場合の方式	
	（3）アクティブ・ラーニング	
地域志向科目	該当しない	
備考		

〇単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	人間として一番大切なものに向き合うことができる。
【知識・理解】	人間として一番大切なものを大切にする経済学を理解することができる。

【技能・表現・コミュニケーション】	人間として一番大切なもののために生きることができる。
【思考・判断・創造】	人間として一番大切なものについて深く考えることができる。

○成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等（テスト）	レポート・作品等（提出物）	発表・その他（無形成果）	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。	15点	35点	10点	
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。	10点	5点		
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。	5点			
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。	10点	10点		

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等（提出物）	[Sレベル]単位を修得するために到達すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル]単位を修得するために到達すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル]単位を修得するために到達すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル]単位を修得するために到達すべき到達目標を一部分満たしている。
発表・その他（無形成果）	